

町議会を先導する 新議長・副議長に聞く

質問1 なり手不足から一転、選挙戦になった今回の選挙について、思いをお聞かせください。

小玉議長

昨年末に、現職議員の多くから不出馬の意向が示された時には、かなり危機感を感じました。無投票どころか、欠員の可能性もあると。そこで早い段階で町民に現状を知っていただくことが必要と感じていました。結果、12名の方が立起していただき、選挙になりました。前職議員が、かたるベサロンや個別に話をしたことも大きかったと思いますが、「なり手不足の議会を何とかしなければ」と立起した方々の気持ちがあったからこそ感じます。選

挙戦になるとかなりのエネルギーを費やしますが、町民の思いを投票という形で表現することが大切。私は、選挙戦になって本当に良かったと思っています。

西内副議長

「議員のなり手不足」問題に対しては、少しでも町議会に関心がある方への立候補の後押しになればと、議会活動や選挙について説明した資料を作成し、町民の皆さまと議員の気軽な意見交換の場「かたるベサロン」を週末の夜間に開催するなど、議会も対策を講じました。

結果、議会議員としてまちづくりに参加しようとする志を持った若い方々が立候補してくれました。新人議員には、

選挙準備期間も短い中、よく決断してくれたと敬意を表しますし、ご理解を示し支えていただいたご家族の方々に感謝を申し上げます。

ただ、今回の町議会議員選挙は「選挙になった」とはいえ、現職議員も新人議員も立候補の表明が遅く、果たして、自身の考えや公約を町民の皆さまに十分に伝えられたのだろうか、反省も残る選挙でした。

質問2 新たな議会構成をどう思いますか。

小玉議長

議会は、議員が町民の代表として議論する場です。そのため、さまざまな立場や価値観を持つ方が議員になることが求められます。今回の議員構成は、30歳代から70歳代まで年齢もバラバラで、加えて女性議員が約半数となりました。世間では、男性だけの議会構成が問題視されている中、まさに理想の構成となったと感じています。ただ、職域から見ると、本町基幹産業である農業者が少ないことから、今後の議会活動においてしっかりと意識して取り組まなければならぬと感じています。

この計画をベースにして、今期の議会がさらに発展、充実することを目指したいです。

質問5 今期4年の取り組みべき重点項目は？

小玉議長

前期の議会からの遺言で、「議会基本条例の制定」があります。「議会基本条例」は、議会活動を一定レベルに保つため、議会として町民の皆さまにする約束のようなもの。「議会モニター制度」は、議会活動に対し、町民目線でご意見をいただき改善していくための仕組み。この2点を早期に実現したいと考えています。

西内副議長

前出の質問の際にも答えましたが、町民の皆さまとの意見交換や情報共有の機会をできるだけ多く持つことを考えます。前任期中の約3年間、新型コロナウイルス感染症の拡大、まん延によって、議会活動にも制限がかかり、町民の皆さまとの接点が思うように得られませんでした。住民の皆さまの声や姿が希薄になった議会は、脆弱なものだと気付かされました。今期は、あの3年間を取り戻したいという思いを強くしています。

質問6 議長、副議長になった抱負を教えてください。

小玉議長

議長という立場になり、これまで議員として過ごした8年間とは比べもの



西内副議長

町の代表機関である議会を構成する議員の年齢や性別、職業などは、多様性に富んでいる方が町民の皆さまの意思を、より町政に反映できると思います。今回のように、年齢幅が広く、女性議員が約半数というのは、良い結果でした。

農業関係の議員があまりにも少ない議会構成となったことに関しては、常任委員会活動などを通して、農業をはじめとする各産業に携わる方々との接点を創出し、現状の把握や情報の共有に努めることが必須だと考えています。

質問3 新しい議会の強みと、それを生かした議会運営についてどう考えていますか？

小玉議長

新しい議会が一番の強みは、やはり「多様性」だと感じます。この多様性を生かすことで多くの町民に寄り添い、共感することが出来ます。加えて議会からの情報発信においても、さまざま

にならない重責感を感じています。私の議員としての公約「町民に寄り添い、存在感のある議会」を議長という立場で実現していきたいと思っています。

西内副議長

議長は、議会を主宰するトップリーダーとして、議会を先導していく立場です。私は一番後ろにいて、議員がそれぞれ新津川町民の信託に応える議会活動ができるよう支える仕事ができたらと考えています。議会の黒子役として、おこなうべく務めていきたいと思っています。

質問7 最後に、お二人から町民へのメッセージを。

小玉議長

議員11名が一丸となって、町民主役の町づくりに取り組みます。皆さんからしっかりと評価していただける議会を目指したいと思っております。ご支援、ご協力をよろしく願っています。西内副議長



西内副議長

どうぞ、よろしく願っています。

を忘れず進めたいです。

質問4 今期4年、どのような議会像を目指していきたいですか？

小玉議長

「議会は何をしているか分からなく」という声を少なくしていきたいです。議会の情報発信方法は、SNSや動画配信などさまざまです。議会での活動内容、協議内容など多くの町民の目に耳に議会の情報が届くようにしていきたいです。次に、今回議員になった方々がやりがいを感じる議会を目指したいです。町民の代表としてしっかりと議員の活動を行い、「町民の皆さまの福祉の向上に寄与できた」と実感できる議会を目指したいです。

西内副議長

私は前任期、議会運営委員長として、議会活動の充実と継続性を図るため、計画的かつ戦略的な取り組みを明確化した「新津川町議会活動計画」を策定しました。

な立場に合わせて発信方法を工夫でき、町民に身近な議会を実現することが可能となります。この強みを生かし、議員一人ひとりが多くの情報を得ることに力点を置き、議員間で議論し、行動する議会運営を目指したいと思います。西内副議長

さまざま年齢層や職業の議員が多いと、それだけ視点が増えます。新たな気付きや発見も得られ、町民の皆さまのための有意義な議員問討議が活発にできると思います。

また、新人議員が増えた議会ですから、まず、町民の皆さまに学ばせていただくこと、良い意味での貪欲な議会活動を展開できるのではないかと考えます。地域、現場、現地へ向かい、住民の皆さまと「密」な空間を設けてもらえるよう、議長をはじめ各委員長にお願しています。

また、若い議員が増えたことで、議会活動のICT化に拍車がかかることが期待できます。一方、高齢者も多い本町ですから、住民に不親切になったり、不便になったりしないような配慮